COVID-19に関する社会的スティグマ

2020年2月24日 改定版

COVID-19に関する社会的スティグマの防止と対応のガイド[*1]

対象読者：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に対応する政府、報道機関、地域の組織

社会的スティグマとは？

保健医療に関する社会的スティグマとは、ある特定の特徴をもつ個人や集団を、ある特定の病気と否定的に関連付けることを指します。感染症流行時には、特定の人々が疾患と直感的に結びつけられることによって、レッテルを張られ、固定観念を持たれ、差別を受け、阻害され、その社会的地位が損なわれることになります。

このような扱いは、疾患を抱える人々だけでなく、介護者、家族、友人、地域社会にも悪影響を与える可能性があります。病気ではないのに、スティグマの対象となる集団と関連する特徴をもつ人々もスティグマに苦しめられる可能性があります。

現在のCOVID-19の流行は、特定の民族的背景を持つ人々に留まらず、ウイルスに接触したと思われる人に対しても、社会的スティグマや差別的な行動を引き起こしています。

COVID-19は、何故これほどのスティグマを引き起こしているのか？

COVID-19に関連したスティグマのレベルは、主に以下の3つの要因に基づいています。

1）新しい、未だ不明な点が多い疾患であるということ

2）私たちはしばしば未知のものを恐れるということ

3）その恐怖を「他者」と関連付けるのは容易であるということ

一般の人々の間に混乱、不安、恐れがあることは理解できることですが、残念なことに、これらの要因が有害な固定観念を形成することに拍車をかけています。

どんな影響があるのか？

スティグマは、社会的結束を弱め、特定の集団の社会的孤立を促進し得ます。これにより、ウイルスが広がりやすくなる状況に寄与する可能性があり、その結果、より深刻な保健課題が引き起こされ、感染症の流行を制御することがより困難になる可能性があります。

スティグマは、

- 差別を避けるために疾患を隠すよう人々を駆り立て
- 人々がすぐに医療を受けることを阻害し
- 人々が健康的な行動をとる意欲を損なわせます

[*1] このチェックリストには、ジョンズホプキンスコミュニケーションプログラムセンター、 READYネットワークからの推奨事項が含まれています。

社会的スティグマへの対処方法

これまでの研究で、伝染病に関するスティグマと恐怖が対応を妨げることが明らかになっています。信頼できる医療サービスや推奨事項に対する信頼を築き、影響を受けた人に共感を示し、疾患そのものを理解し、人々が自身や家族の安全を保つために効果的で実用的な手段を採用することが効果的です。

病気と闘い、恐怖やスティグマに拍車をかけるのを防ぐための効果的な行動を人々が取れるよう支援するには、COVID-19 についてどのように伝えるかが重要です。病気やその影響を、オープンに、正直に、効果的に議論し、対処できる環境を作る必要があります。

複雑な社会的スティグマへの対処と回避に関して、いくつかのヒントを以下に示します。

1. 言葉を大切に：新型コロナウイルス感染症について話すときにすべきこと、すべきでないこと
2. それぞれの役割を果たす：スティグマを追い払うためのシンプルなアイデア
3. コミュニケーションのヒントとメッセージ

言葉を大切に

コロナウイルス感染症について話すとき、特定の単語（例：疑い例、隔離など）や言い回しが、人々にとって否定的な意味を持ち、差別的態度を助長させることがあります。これらは既存の否定的な固定観念や憶測を持続させ、疾患と他の要因との間の誤った関連性を強化し、広範な恐怖を生み出し、病気を抱える人々の人間性を否定する可能性があります。

これによって、スクリーニングや検査、隔離を避けるよう人々を駆り立てる可能性があります。メディアを含むすべてのコミュニケーションチャンネルでは、人々を尊重し、力を与える「一人一人を大切にする言葉（'people-first' language）」を使うことを推奨します。メディアで使用される言葉は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する一般的な言葉づかいやコミュニケーションを形成するため、特に重要です。否定的な報道は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の疑いのある人々や患者、その家族、流行の影響を受けたコミュニティがどのように認識され、対応されるかに影響を及ぼす可能性があります。

包摂的で差別のない言葉遣いが、HIV、結核、豚インフルエンザ[*2]などの大規模な流行を制御するのにどう役立つかについて、多くの具体例があります。

やるべきことと、やるべきではないこと 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について話すときの言葉遣いに関して、やるべきこと（DO）とやるべきではないこと（Don't）を以下に示します。
DO：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について話しましょう。 **Don't**：病名に地名や民族名を付けないでください。この病気は「武漢肺炎」「中国肺炎」「アジア肺炎」ではありません。疾患の公式名称は、スティグマを避けるために意図的に選択されました。「co」はコロナ、「vi」はウイルス、「d」は疾患を意味します。「19」はこの疾患が 2019 年に出現したことに由来します。

[*2] UNAIDS 用語ガイドライン：「エイズ被害者」から「HIV とともに生きる人」、「エイズと戦う」から「エイズに対応する」へ。

DO：「COVID-19に罹っている人」や「COVID-19の治療を受けている人」、「COVID-19から回復している人」、「COVID-19により亡くなった人」について話そう。
Don't：疾患を抱えた人を「COVID-19の症例」や「犠牲者」と呼ばないで下さい。

DO：「COVID-19に罹っている可能性のある人」または「COVID-19に罹っていると推定される人」について話しましょう。
Don't：「COVID-19の容疑者」または「疑い例」と話すのはやめましょう。

DO：COVID-19に「罹っている」、「感染している」人々について話しましょう。
Don't：「COVID-19を伝染させる」、「他の人に感染させる」、「ウイルスを拡散する」人々、と呼ぶのはやめましょう。意図的に伝染させることをほのめかしており、非難を被るからです。犯罪を示唆したりや人間性を否定するような用語を使うと、病気の人々が何らかの形で間違ったことをしたか、他の人よりも人間的ではないという印象を与え、スティグマを助長し、共感する気持ちを弱めます。また治療を受けることや、スクリーニングや検査、検疫に参加することへの抵抗を促進させる可能性があります。

DO：科学的データや最新の公式推奨事項に基づいて、COVID-19のリスクについて正確に話しましょう。
Don't：根拠のない噂を繰り返したりシェアするのをやめ、「ペスト」、「黙示録」などの恐怖を生むよう設計された誇張表現の使用を避けましょう。

DO：予防と治療の効果をポジティブに話し、強調しましょう。ほとんどの人にとって、これは克服できる病気です。私達自身や家族、そして最も脆弱な人々を安全を守るために、私たち全員がとることができる簡単な予防法があります。
Don't：脅すような、ネガティブなメッセージを強調し、くどくど述べることはやめましょう。最も脆弱な人々の安全を守るために、私達は協働する必要があります。

DO：早期のスクリーニング、検査、治療だけでなく、新型コロナウイルスの感染を防ぐ予防策を取り入れることの有効性を強調しましょう。

それぞれの役割を果たす

政府、市民、メディア、主要なインフルエンサー、およびコミュニティは、中国とアジアの人々を取り巻くスティグマを防ぎ、阻止する重要な役割を担っています。ソーシャルメディアや他のプラットフォームでコミュニケーションをとるとき、私たちは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連する支持的行動を示しながら、計画的かつ思慮深くふるまう必要があります。

差別的態度に対抗するための、実践可能なアクションに関するいくつかの例とヒントを以下に示します。

- **事実を伝える**：スティグマは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染経路や治療法、予防法に関する不十分な知識によって、さらに悪化する可能性があります。これに対して、COVID-19 の影響を受けている地域、COVID-19に対する個人や集団の脆弱性、治療の選択肢、医療や情報にアクセスできる場所に関する、国およびコミュニティごとの正確な情報の収集や統合、普及を優先しましょう。シンプルな言葉を使い、専門用語を避けましょう。ソーシャルメディアは、比較的低コストで多くの人々に情報を提供するのに役立ちます[*3]。

- **社会的に影響力のある人を巻き込む** [*4]：宗教的指導者などの社会的影響力のある人々に、スティグマを持たれた人々とその支援の方法についてよく考えてもらえるよう、あるいは尊敬される著名人にスティグマを軽減するメッセージを増幅するよう促します。情報は十分にターゲットを絞る必要があり、情報を伝えるよう依頼する著名人は、その著名人自身が積極的であり、かつ影響を与えようとする聴衆に対して、地理的および文化的に適切な人物でなければなりません。これには例えば、市長（または別の重要なインフルエンサー）がソーシャルメディアで実況中継を行い、中国コミュニティのリーダーと握手を交わすなどが挙げられます。
- **「声」を拡散する** ：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を経験し回復した、あるいは回復するまでその人を支援した地元の人々の姿、声、物語を増幅して、ほとんどの人が COVID-19から回復することを強調しましょう。また、差別を受けるかもしれない介護者や医療従事者を称える「ヒーロー」キャンペーンを実施しましょう。地域住民のボランティアは、地域のスティグマを減らすことにも大きな役割を果たします。
- **様々な民族集団を包摂する** ：すべての資料は、COVID-19 の影響を受け、その蔓延を防ぐために協働する、多様なコミュニティを描写する必要があります。書体、記号、フォーマットが中立的で、特定のグループを示唆しないことを確かめましょう。
- **報道倫理**：個々人の行動と患者の「COVID-19 の拡散」に対する責任に過度に焦点を当て、大衆受けを狙うような報道は、疾患を患っているかもしれない人々へのスティグマを増大させる可能性があります。例えば、メディアの中には、各国の「起点となった患者」を特定しようとして、COVID-19 の原因を推測することに焦点をあてるものがあります。ワクチンと治療法を見つける努力を強調することは、恐怖を増大させ、いま私たちには感染を止める力がないのだという印象を与えます。代わりに、基本的な感染予防策、COVID-19 の症状、いつ医療機関を受診すべきかに関する内容を伝えましょう。
- **つながる**：スティグマと固定観念に対処するための多くの取り組みがあります。これらの活動に参加し、すべての人にケアと共感を示すムーブメントや前向きな環境を作り出すことが大切です。

コミュニケーションのヒントとメッセージ

誤情報や噂による「情報伝染病」は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の実際の発生よりも急速に広がっています。これは、流行の影響を受けた地域の人々へのスティグマの助長や差別を含む悪影響を及ぼします。この「情報」によるアウトブレイクの影響を受けた地域や人々を支援するためには、人々の連帯と明確で実用的な情報が必要です。

[*3] ナイジェリアでは、西アフリカの他の3か国に影響を与えた2014年のエボラ出血熱アウトブレイクの封じ込めに成功しました。その成功には、ターゲットを絞ったソーシャルメディアキャンペーンを採用して正確な情報を広め、TwitterやFacebookで流布するデマメッセージを修正することが寄与しています。国際的な非政府組織（NGO）やソーシャルメディアのインフルエンサー、著名人、ブロガーたちが幅広いプラットフォームを利用して、保健医療関係の情報や意見を転送および共有することで、介入はより一層効果的なものとなりました。
Fayoyin, A.2016. Engaging social media for health communication in Africa: Approaches, results and lessons. Journal of Mass Communication and Journalism, 6(315).

[*4] 「アンジェリーナ・ジョリー効果」は、公衆衛生コミュニケーションの研究者たちによって作られた用語で、 2013 年に女優のアンジェリーナ・ジョリーが予防的両側乳房切除術を行った数年後に、乳がんの遺伝学および検査に関するインターネット検索が増加したことを説明します。その「効果」は、信頼のおける情報源を著名人が支持することは、一般の人々が保健医療に関する知識や COVID-19 に対する姿勢、COVID-19 に対する医療サービスの普及を求めるよう働きかけるために効果的であることを示唆しています。

誤解や噂、誤情報は、対応活動を妨げるスティグマや差別の一因となっています。

- **誤解を修正する**と同時に、根底にある前提条件が間違っていたとしても、人々の感情やそれに基づく行動は非常に現実味を帯びたものだと認めましょう。
- **予防**や救命処置、早期スクリーニング、治療の重要性を伝えましょう。

さらなる拡大を防ぎ、地域の不安を和らげるために、人々の連帯と世界的な協力が必要です。

- **共感を呼ぶ物語**、つまり新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けた個人や集団の体験談や苦闘に人間らしさを与えてくれるストーリーをシェアしましょう。
- この流行への対応の最前線にいる人々（医療従事者、ボランティア、地域のリーダーなど）に対する**支援と励まし**を伝えましょう。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大を止めるのは、恐怖ではなく事実です。

- 病気に関する事実と正確な情報をシェアしましょう。
- 迷信や固定観念を疑いましょう。
- 言葉遣いに注意しましょう。コミュニケーションの仕方は他者の態度に影響を与えます。（上記の「やるべきことと、やるべきではないこと」を参照下さい）

日本語訳：WHO健康開発総合研究センター(WHO神戸センター)